受動喫煙対策防止、喫煙室設計基準

## (1)望ましい空気環境:

粉塵濃度≦0.15m g/m3

入口気流 0.2m/秒≤扉全開

- 一酸化炭素濃度≦10ppm
- (2) 設計の為の計算式:
- (2-1) 喫煙室で吸うタバコの本数
- = n (本/時)
- = {Q (m3/時、換気量) x 0.15 (m g/m3、粉塵基準値)} /10 (m g/本、1 本当り発塵量)
- $=0.015 \, \text{x} \, \text{Q}$
- (2-2) 喫煙室の床面積
- =S(m2/人)
- = x 1.2 (立位)、 x 1.8 (坐位)
- (2-3) 換気量
- =Q (m3/時)
- =3600 (秒/時) x k (安全率=1.3) x 0.2 (m/秒、風速) x S '(m2、入口面積)
- $=936 \times S$  '
- (2-4) 飲食業での換気量
- =Q (m3/時)
- =70.3 x n (席数)
- =130 (m3/本、タバコ 1 本当りのQ必要量) x 1.24 (本/時、平均タバコ本数) x 0.218 (喫煙者割合) x 2 (安全率)
- =19.5(mg/本、ハイライト 1 本当りの発塵量)/0.15(mg/m3、基準値) x 19.8(本/日、一日喫煙本数)/16(時、起床時間) x 0.218 x 2